

名古屋 文化情報

2020
7・8
July / August

No. 393
NAGOYA
Cultural
Information

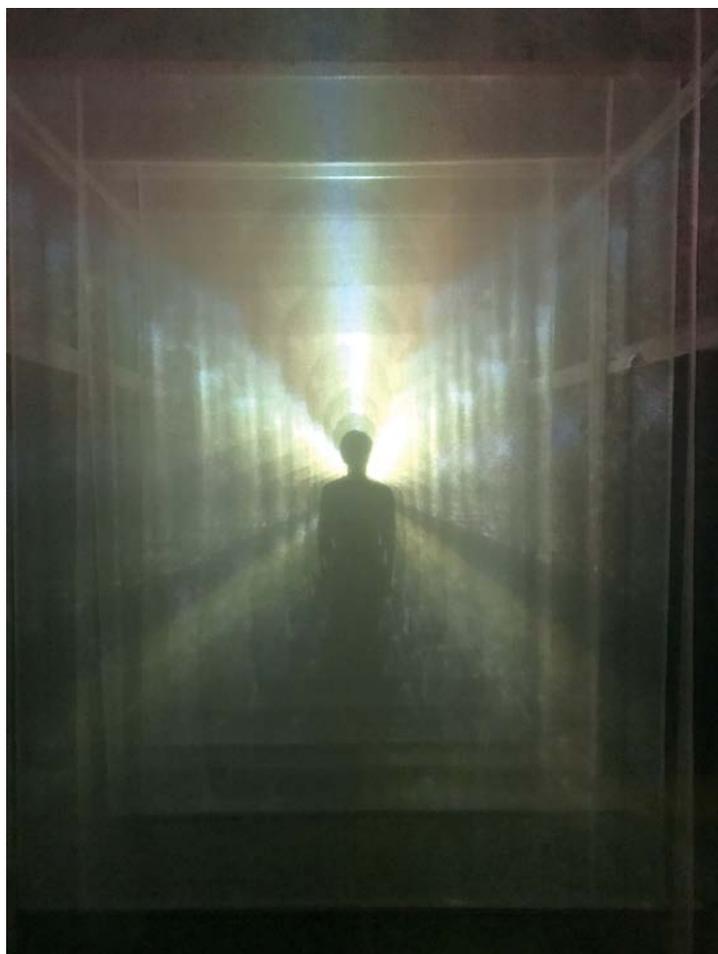
随想／岡崎 美奈江 (箏曲演奏家)

視点／いま、高校ダンス部が熱い!～名門ダンス部・光ヶ丘女子高校の更なる挑戦～

この人と…／いのこ 福代 (演劇制作・演出・俳優・朗読指導)

ピックアップ／今、旬の音楽家たち

いとしのサブカル／田川 弘 (フィギュアフィニッシャー)





Contents

名古屋市民文芸祭 小・中学生の部 受賞作品…………… 2

随想 私にできること
岡崎 美奈江(箏曲演奏家)…………… 3

視点 いま、高校ダンス部が熱い!
～名門ダンス部・光ヶ丘女子高校の更なる挑戦～…………… 4

この人と…
いのこ 福代(演劇制作・演出・俳優・朗読指導)…………… 6

ピックアップ 今、旬の音楽家たち…………… 10

いとしのサブカル プロに尋ねるフィギュアフィニッシャーの仕事
田川 弘(フィギュアフィニッシャー)…………… 11

おしらせ…………… 12

「なごや文化情報」編集委員

- 上野 茂 (ナゴヤ劇場ジャーナル編集長)
- 杵屋六春 (長唄・唄方 名古屋音楽大学講師)
- 鈴木敏春 (美術批評・NPO法人愛知アートコレクティブ代表理事)
- 濱津清仁 (指揮者)
- 山本直子 (編集・出版 有限会社ゆいぽおと代表)
- 吉田明子 (人形劇団むすび座 制作部長)

表紙

作品

世界の生まれるところ - Self ～真我～

(2017年/インタラクティブビデオインスタレーション/
約h270cm×w200cm×d500cm 上映時間 約5分)

私にとって作品制作は内なる自己(Self)と対話するようなものです。
未来は無意識を含めた心から生まれます。
エゴ(自我)に従うのか、セルフ(自己)の声に耳を傾けるのか、
世界は私たち一人ひとりの心の中から生まれてきます。



作品を YouTube にてご覧いただけます。
<https://youtu.be/JMgPNazPCXQ>



水谷 イズル (みずたに いずる)

略歴

- 1961年 名古屋市生まれ
- 2004年 "Declaration"展/韓国国立現代美術館
- 2007年 "The Sky in Art"展/国立ロシア美術館
名古屋市文化振興事業団第23回芸術創造賞受賞
- 2009年 "目を閉じて"展/茨城県近代美術館
- 2017年 アスタナ万博/イタリア館
"世界が生まれるところ"展/スイス/イル・リヴェリーノ

水谷 イズル ウェブサイト

<https://izurumizutani-art.com>



- 「2019年 名古屋市民文芸祭」
(第七十回名古屋短詩型文学祭)小・中学生の部
俳句の部 受賞作品より ※受賞時の学校・学生で掲載しています。
- ◆市長賞◆ 横浜市立大岡小学校6年 杉山 恵洋
目をつぶりソメイヨシノのこどう聞く
 - ◆市会議長賞◆ 聖霊中学校2年 小羽 彩花
暮まいりちかくに感じるおばあちゃん
 - ◆市教育委員会賞◆ 岩倉市立曾野小学校3年 山口 浩輝
暮まいり今日も悲しい雪が降る
 - ◆市文化振興事業団賞◆ 名古屋市立日比津中学校1年 大島 彬徳
無花果を落とした鳥「ギー」と鳴く
 - ◆名古屋短詩型文学連盟賞◆ 名古屋市立萩山中学校3年 大谷 一貴
老犬を抱く老人に春の風
 - ◆中日賞◆ 名古屋市立今池中学校2年 浦田 侑梨愛
最近は見なくて恋しい麦わらぼう

随想

私にできること



おかざき みなえ
岡崎 美奈江(箏曲演奏家)

名古屋音楽大学邦楽専攻卒業・同大学院修了。卒業後リサイタルや海外公演などの演奏活動を積極的に行う。箏曲宮城社大師範、名古屋音楽大学講師。箏曲美卯の会主宰。名古屋市民芸術祭2012参加公演【箏・三絃リサイタルⅡ～未来へ～輝く古典】にて名古屋市民芸術祭特別賞受賞。

「古典もかつては現代曲だった」これは、私の師が好んで使われる魔法のフレーズです。20年ほど前、私もお稽古で初めてこのフレーズを聞いた時、その日お稽古した古典曲が現代曲として登場した当時を妄想しながら帰ったことを憶えています。

どの伝統芸能にも通じることかと思いますが、現在お箏の世界も一部を除き、古典が中心の古典派と現代曲が中心の現代箏曲派に分かれています。私にとっては、古典と現代曲のどちらもとても魅力的です。

箏曲の古典と言いますと、地唄箏曲の祖、近代箏曲の開祖といわれ「六段の調べ」で知られる八橋検校（1614-1685）によって築られました。八橋検校が亡くなった年に、西洋音楽の基礎を構築し、音楽の父と称されるヨハン・セバスティアン・バッハが誕生したことを知った時には、幼少から高校生までピアノを習っていた私は、とても親近感を覚えました。

「六段の調べ」は数少ない唄をとまなわない純器楽曲ですが、後の時代は、地唄という三味線音楽に繋がり、現在私たちは箏・三絃（地唄三味線）の2つの楽器を演奏しています。そして、弾き唄いです。

数年前、ウィーン楽友協会のプラームスホールで演奏の機会に恵まれました。音響の素晴らしい600

席のホールですので、普段通りの生音での演奏です。珍しい日本の音楽に、会場いっぱいのお客様が集まってくださいました。器楽曲（唄のないもの）だと思われていたのでしょうか、前弾き（前奏）の後、私が唄い出した時、客席からたくさんの「Wow!」の驚きの声で緊張も解けました。

その後の休憩時間に舞台上で調弦変え（曲によって13個の^{ことし}琴柱を動かして音階を変える）を行っていると、たくさんのお客様が舞台近くまでいらっしゃって、興味深そうに観ていました。さすが、生活に音楽がしみ込んでいる方々、普段目にするこの楽器のどこからこの音がするのかという好奇心なのでしょう。

古典演奏の舞台の機会はそれほど多いわけではありません。音大卒業後、私が企画したのは、地元の三流派（都山流、竹保流、琴古流）の尺八演奏家の先生方のご協力のもと、若手箏曲奏者との演奏会「なごや古典らいぶ」です。初めて和楽器による演奏をお聴きくださるお客様にも気軽にお越しいただけるよう、名古屋能楽堂の地下けい古室を会場にしています。畳の間を客席にし、能の練習舞台上で演奏する演奏会は次回で9回目を迎え、10回目の記念には名古屋能楽堂の舞台上での開催が目標です。

私も、長い年月弾き継がれてきた古典を、大切に引き継いでゆく一人となれるよう精進して参ります。

Report

視点

いま、高校ダンス部が熱い！

～名門ダンス部・光ヶ丘女子高校の更なる挑戦～

各地で開催されるダンスコンクールで、最も注目を浴びている高校ダンス部。強豪校ぞろいの愛知県内において、数多くの受賞歴を誇る岡崎・光ヶ丘女子高等学校ダンス部「チーム光」に焦点を当て、歴史ある名門校のダンス部発足秘話や現状について、ダンス部顧問・団野美由紀先生、ダンス部一期生で現在はダンス部のコーチとして指導、ご自身もプロのダンサーとして数多くの受賞歴を持つ石川雅実コーチ、部長で3年生の多賀茉彩希さんにお話を伺った。

(まとめ：杵屋六春)

きっかけはクリスマスページェント

1963年4月に開校した光ヶ丘女子高等学校は、「誠実・純潔・奉仕」を校訓とし、カトリック的世界観に基づき、人物を育成する岡崎の私立女子高等学校である。

毎年12月に開催される学校最大の行事が「クリスマスページェント」だ。カトリック系高等学校にふさわしく、イエス・キリストの降誕を音楽・芝居・ダンスで描くミュージカル劇で、今では2,000枚のチケットが、30分で完売する程の人気公演となり、市民からも歓迎されている。この公演に出演することは生徒たちのステータスであり、憧れでもある。しかし当初は準備期間も短く、体育館で開催、内容も学芸会に近いものだった。

そこでクリスマスページェントをもっと本格的な公演にすべく、団野先生にダンス指導が依頼された。団野先生は、「ダンス部創部は茨の道でした」と振り返る。「当時ダンスはイメージがとても悪く、学校で行うなんて…と教員受けは最悪でした。実際に初めてダンス部員たちが全校生徒の前で踊った際も笑いが起き、そのために二度と踊りたくないと泣き出す部員達に、心が痛みました」とも。



作品名「クレオパトラ」

第11回日本高校ダンス部選手権・全国大会では250チーム中11位で惜しくも入賞を逃す。同作品は第10回NFCC全国ハイスクールダンスコンペティション第3位。

やるからには本格的に

団野先生に再びお話を伺う。先生はダンス指導のため、1986年非常勤体育教師に就任。実は、同年シスターコンセ

プション（注）からクリスマスページェントのために、ダンス同好会を創るので指導してほしいと頼まれたのだが、一度目は断った。翌'87年、ダンス同好会希望者40人の名簿をもった生徒代表3人とシスターコンセプションから、ぜひこの生徒達に教えてほしいと再度依頼を受け、週一回の条件で、コーチを引き受けることに。

文化祭で同好会も作品を発表したが、芳しいダンスではなかった。ところがジャズダンスはとても斬新に映ったようで、全校生徒から歓声が上がった。しかし先生は、このレベルのダンスに喜ぶ生徒たちに疑問を持った。本格的なダンスを彼女らに見せたい、やるならば本気でと、翌'88年からコーチのレッスンは週二回に、同好会の練習は毎日行うと決め、指導に力を入れたのである。

しかし生徒たちの反応はというと、「それならやらない」と40人いた部員がたったの6人になった。この6人は、先生から徹底的に指導を受けることになる。バレエ経験者は1人、あとの5人はダンス未経験の初心者だった。その翌年の'89年には同好会から部活動に昇格。入部勧誘でマイケル・ジャクソンの「BAD」を披露し、40人の入部希望者が訪れるも、前年の痛い経験から、本当にやる気のある生徒20人に絞った。その中に現在コーチとしてダンス部の指導にあたる石川雅実さんの姿もあった。

そうした中、第1回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)の開催が決まり、生徒は出場を希望したが、学校は許可



作品名「ルーージュー 見えない魅力を表す色ー」

2019年第1回日本高校ダンス部選手権公式選抜大会
グランプリ決定戦・グランプリ受賞 コーチ・石川雅実さんの作品。(写真:産経新聞)

しなかった。理由は部員たちの素行が悪いこと。授業中に寝ている。ダンス以外には一生懸命取り組まない。授業中に衣装を縫う…など問題山積みのスタートだったと団野先生は振り返る。その後、非常勤講師から教諭になった団野先生は'94年にダンス部顧問に就任し、同年、全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)において創作コンクール部門(高校の部)第2位のNHK賞を受賞するのである。

ダンスの魅力とは

ダンスとは、さまざまな顔を持つパフォーマンスである。バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ジャズダンス、ヒップホップなど調べてみたら一般的なものでも日本舞踊を含めて43種類もあり、世界各国の民族ダンスを合わせると途方もない数・種類のダンスが存在する。その中でも光ヶ丘女子高等学校のダンス部はジャズ、ヒップホップからモダン、創作ダンスまで幅広いジャンルで数多くの賞を受賞している。

コーチとして指導に当たっている石川雅実さんにお話を伺った。ダンスとは「心=魅力」と語る石川さん。「振付・指導するにあたって心掛けていることは、各個人の個性(良さと能力)を引き出すこと。そのためにコミュニケーションを大切にしています。技術面においてもレベルの高い振付を取り入れて、達成感を感じられるようにしています」と語る。光ヶ丘女子高等学校ダンス部の魅力を尋ねると「数え切れないほどありますが、アクシデントをバネにして、全てを力に変えてしまう。マイナスをプラスに変える力を持っています」とのこと。演者として舞台上立つ筆者としてはうらやましい限りの能力である。意識を高め、常に高みを目指す。日々の研さんこそが数々の受賞歴につながっているのである。



「ルージュ」グランプリ受賞の瞬間 (写真:産経新聞)

チーム光を輝かせるために

部員数90人の大所帯、部長はどのような形で選出されるのかを団野先生に伺うと「全員の投票と先生方の話し合いで決定する」そうだ。今年度選ばれた部長は多賀^{まさき}彩希さん、部内では「ガロ」のクラブネームで呼ばれている。クラブを束ねる太陽のような存在の多賀さんにもお話を伺った。「部長とし

て心掛けていることは、ポジティブ思考。常に前を目指し進むことで部全体をけん引しています。先生や仲間との出会いは宝物です」という多賀さんに、大変だったことは何かと尋ねてみると、意外にも「練習などではなく衣装作り。ミシンの使い方も慣れなくて、作業に時間がかかりました」とのこと。大会での輝く衣装は全てお手製、ダンスにも衣装にも愛着が湧き素晴らしいパフォーマンスの原動力になるのだと思う。

最後に団野先生に心掛けていることをお尋ねした。「表現は心そのものだと思っています。心の磨きもダンスの磨きも同じようにできること。いずれダンスはできなくなる日が来ます。運良くプロのダンサーになる人もいますが、たいていは高校で終わります。自分にダンスがなくなっても、ここで学んだ人間力が大学でも、家庭でも、この先の人生においても発揮できる基礎になればいいなと常に心に留めて指導しています。生徒の力を見たい、力を発揮したときに見せる喜びの笑顔が見たい。あとはみんなですべて幸せになりたいと思っています」筆者も大学で指導しているので、この言葉は心に刺さった。

昨年、第1回日本高校ダンス部選手権公式選抜大会グランプリ決定戦でグランプリを受賞した「チーム光」。良き指導者のもと、彼女たちは輝き続けるのである。この春は、新型コロナウイルスの感染拡大により多くの大会が中止になるなど、さまざまな影響を受けてきたが、再びチーム光のパフォーマンスが見られる日を楽しみにしている。

(注) 教職員のほかに在籍するシスターのことで、当時の生徒指導部部长(生徒会の長)。



第31回 光ヶ丘女子高等学校 ダンス部作品発表会
Forest~こころあわせて~ 2019年9月23日



前列左より、団野先生、石川コーチ、多賀部長

も、この先の人生においても発揮できる基礎になればいいなと常に心に留めて指導しています。生徒の力を見たい、力を発揮したときに見せる喜びの笑顔が見たい。あとはみんなですべて幸せになりたいと思っています」筆者も大学で指導しているので、この言葉は心に刺さった。

昨年、第1回日本高校ダンス部選手権公式選抜大会グランプリ決定戦でグランプリを受賞した「チーム光」。良き指導者のもと、彼女たちは輝き続けるのである。この春は、新型コロナウイルスの感染拡大により多くの大会が中止になるなど、さまざまな影響を受けてきたが、再びチーム光のパフォーマンスが見られる日を楽しみにしている。

(注) 教職員のほかに在籍するシスターのことで、当時の生徒指導部部长(生徒会の長)。



第31回 光ヶ丘女子高等学校 ダンス部作品発表会
Forest~こころあわせて~ 2019年9月23日

この人と...



演劇制作・演出・俳優・朗読指導

い^{ふく}の^よこ 福代さん

いのこ福代さんは創立46年になる児童劇の専門劇団「劇団うりんこ」(名古屋市名東区)の創立者の一人であり33年間在団。退団後も制作・演出・俳優として数多くの舞台に関わる。また、朗読指導や表現ワークショップなど、地域に演劇を定着させるための活動を積極的に行っている。そんないのこさんに、これまでの半生を伺った。

(聞き手：吉田明子)

ルーツはここにあるのかも

いのこさんは、1951年4月に名古屋市千種区猪高町(現名東区)に生まれた。父はサラリーマンで普通な家庭だったが、祖父がお芝居好きでよく昔の御園座に連れて行ってくれた。「以前、劇団うりんこ(以下「うりんこ」)で『田の久わらい旅』という作品を上演したが、その舞台上で蜘蛛の糸を使った時、どこかで観たことがあると思った。考えてみたら幼い頃、御園座で歌舞伎を観た時のことだった。お弁当を食べたのと、それだけを覚えている。

父も小さな私をスクーターの後ろに乗せ、映画を観に連れて行ってくれた」

また、家の敷地内に神社があり、そこに地域の人がお参りに集まったり、子ども相撲の奉納などが行われ、幼い頃からそれを見ていたという。「自分がなぜ演劇に関わることになったのか。そのルーツを考えてみる



小学1年生 学芸会で主役の桃太郎

と、こんなところにあるのかもしれない。私はいまだにお祭り好きで芸能が好き。芸術より芸能に惹かれる。子どもの頃の体験が影響しているのかも」

小学生の時に芝居のサークルに

CBC(中部日本放送)に子ども向けの芝居と合唱のサークルがあり、その芝居サークルに小学3年生の時に入った。サークルの世話役だった一人に、当時CBCに勤めていた児童文学作家・劇作家のしかたしん氏がいて、大きな影響を受けることになる。

サークル在籍時は「なもちゃんようちゃん」というTVの社会科プログラムにレギュラー出演し、子どもが書いた詩を朗読する番組などに出演。そのサークルは小学5年生の時に解散となり、多くの子ども達はNHKの児童劇団に移ったが、いのこさんはしかた氏に誘われ、氏が主宰していた劇団名



中学3年生 体育大会で応援団長

古屋の児童部に入団。うりんこを創立するまでずっと在籍することになる。

中学生の時、NHKの「中学生日記」に準レギュラーとして出演していたが、「なぜかわからないけれど、テレビはあまり好きではなく、途中でやめちゃった」とのこと。

劇団うりんこ旗揚げへ

「高校を卒業する時に自分はどうかと考えた。芝居で飯が食えたら良いなと思った。しかし大人向けの芝居ではなかなか食べられない。マスコミに進むという考えもなかった。子ども向けの作品を作って芝居で飯を食っているという劇団が全国にあると聞いて『へえ〜』と。それから真剣に考えるようになった」

1973年、いのこさんを含む劇団名古屋の5人と劇団演集他3人の計8人でうりんこを旗揚げ。それに際し、既にプロとして活動していた人形劇団むすび座（名古屋）、劇団風の子（東京）、劇団2月（関西）、吉四六劇団（九州）などを見学し、学校公演のやり方を学んだ。そして資金作りのためにチリ紙交換をし、お正月には花売りやしめ縄売りなどもした。

「当時、女性のチリ紙交換は名古屋初で、たくさん取材を受けた。チリ紙交換は流しの他に、団地を回って玄関に置かれている新聞紙の重さを計り、チリ紙を置いていくやり方。その後うりんこを立ち上げた時に、その団地にチラシを配ったら、チリ紙交換のお客さん達がたくさん公演を観に来てくださり、とっても嬉しかった。また、その時の市長が文化にも力を入れてくれた本山市長だったこともあって、いろんなところで取りあげてくださり、新聞社も記事にして協力してくれた。今も続く『なごや子どものための巡回劇場』はその時の財産。私が今活動している『なごや芝居の広場』は、その時の考えがベースになっている」

旗揚げ後、うりんこが主宰する演劇教室は定着し、名古屋市政も後押ししてくれたこともあり、劇団の活動は順調だった。中学、高校を対象とした作品もレパートリーに加えるなど活動は広がっていき、子ども劇場・おやこ劇場などの公演回数も合わせる



劇団うりんこ設立当時の写真

と全国トップクラスの存在となった。

うりんこ劇場の誕生

1986年、それまでプレハブだった劇団の稽古場を建て替える際、稽古場にするか劇場を建てるかの議論の末、「劇場を建てよう!」となった。

「地域の人に集ってもらい聴聞会を開いたら、『ストリップ劇場をつくるのではないですよね?』と聞かれたことがあった。自分たちがやろうと思っていることが、まだまだ理解されていないんだと。当時〇〇劇場というのはストリップ劇場くらいしかなかったから。それが、劇場を作り地域の人に来てくれるようになって、ようやく社会的に認知されてきていると感じる。劇場を作っている時、近所の人たちは『いったい何を作っているのだろう?』と思っていたと思う。たくさんの方々に寄付をしてもらい、結局建設費の半額を寄付金と貸し付けで賄った。地域に根ざした劇団、“劇場のある街”がスローガンだった」

完成した「うりんこ劇場」では、誕生当初から他の劇団や音楽団体などを積極的に招き、地域の人のために様々な企画を行った。毎日新聞に「劇場のある街」というタイトルで連載を書いたり、中日新聞や他の新聞社の文化担当の記者たちも名古屋の文化を盛り上げようと積極的に取り上げてくれた。



うりんこ劇場オープンの写真

劇場という、稽古場と公演の拠点を作り上げたことにより、様々な才能あふれるスタッフとの作品創りが可能となった。小田健也、ふじたあさや、加藤直、鐘下辰男、林光、倉本政典などの各氏、またドイツ・ベルリンなど海外からのスタッフも迎え、次々に話題作を発表し創造の幅を格段に広げた。「自前のホールなので規制は何もなく、トラックで大量の砂を運び込んだり、水を張ったり、まあ、いろいろなことをやった」

また、うりんこ劇場では糸井重里、内田麟太郎、岸田今日子、谷川俊太郎などと共に多彩な企画を行うこともできた。「谷川さんはお客さんを喜ばせることにすごく神経を使っていた。素晴らしいアーティストはお客さんと一緒に作るという意識を持っている。

そういう人が一流のアーティスト。一流アーティストたちに触発され刺激を受けた」



全国児童・青少年演劇協議会新人賞「グリックの冒険」ノンノン役

うりんこでの仕事

最初の7～8年は役者として活動し、その後制作に移る。そして制作をしながら、うりんこ劇場事務局長を15～16年程務めた。運営委員や創造委員長なども兼任し、中高生向けの作品には役者として出演もしていた。そして、自分のやりたいことはやりつくしたという思いと、母の介護や自分の体調などもあり、33年間の活動に終止符を打ち2006年に55歳でうりんこを退職。

「うりんこは私利私欲で動かず、総会では劇団の代表だったしかたさんから全国の情勢を聞き、大局的な立ち位置で活動してきた。それは創立時からの伝統。創立メンバーの後藤武彌、故・本田忠勝、田中美代子、西尾瞬三、成瀬勝弘さんら仲間がいてくれたから私は好き勝手にやってこれた。うりんこにはこれからも広い視野に立ってほしい。うりんこ劇場は、劇場委員会を作って

みんなでワイワイやるという形式をとり、ひとりで決めるということではなく、みんなで決めていった。

私はうりんこにいて、プロのスタッフのシビアなモノづくりを学んだ。うりんこでいただいた財産を少しでも名古屋の演劇文化にプラスにするというか、自分の培ってきたものをお返し出来たらと



1991年 高校作品「いつも鞆にパラダイス」

思っている」

退団後の活躍

うりんこ退団後は他分野との共演を始め、朗読の指導などを通じ、その仲間とともに地域の文化活動に参加する。

2007年、名古屋市文化振興事業団（以下「事業団」）企画公演「伯爵令嬢マリツツア」演出助手。2013年、事業団設立30周年記念事業・名古屋の演劇人が贈る名作劇場「國語元年」に出演し、演出の鹿目由紀氏と共に第18回松原英治・若尾正也記念演劇賞をダブル受賞。受賞理由は「東京・下町育ちの女中・たね役の、個性豊かな演技陣の要としての優れた演技」。同年、総合劇集団俳優館「新劇100年企画Ⅱ～珠玉的一幕劇・短編戯曲集～人を食った話」に出演。2015年、事業団主催～プロとつくる舞台ホップ・ステップ・ジャンプ～サテライト事業「心に響くものがたりをあなたに～朗読で贈る珠玉の短編集～」に出演。



2013年「國語元年」左から3人目 松原英治・若尾正也記念演劇賞受賞

2005年に構成・演出を担当した事業団主催事業「みんなのリーディング」の上演後、朗読を教えてほしいと出演者から頼まれ、出演者28人の三分の一ほどが参加して指導を開始。15年経った現在も活動は続いている。その他5つの朗読グループの指導も行い、定期的に朗読ボランティアに出かけている。

東日本大震災後には仲間と東北でボランティア公演をするとともに、地元で「結コンサート」を開催し被災地を応援し続けている。

「震災から2年後の6月、被災地の子ども達を受け入れていた小学校に行ったら、そこは複数のボランティア公演を受け入れていた。思わず『何故、私達のようなボランティアを受け入れてくださるのですか』と校長先生に聞くと、返ってきた言葉は『今、学校がやらなければならないことが二つあります。一つは運動場で思いっきり遊ばせること、もう一つは堅くなっている心を耕すこと。この二つが子ども達の生きる免疫力アップにつながるのです。あなたたちのような方が来てくださるのは本当にありがたい』。私はこれ以降、自分のやっている演劇は生きる力につながるものとし

て向き合うようになった」

「なごや芝居の広場」の始まり

劇作家・演出家・俳優のなかとしお氏に、昭和文芸小劇場の柿落し企画の制作を手伝ってほしいと言われたのが「なごや芝居の広場」の始まり。いのこさんが「どうせなら市内全部の文化小劇場でやろう」と発案し企画が始まった。

「今、私が『芝居の広場』をやっているのは、文化小劇場は宝だと思うから。これは名古屋の財産。うりんご時代から他の地域の人に名古屋はすごいとよく言われた。子どもの芝居には客席300前後は理想的。観客の子ども自身も、自分たちがこのお芝居を支えているんだと主役になれる規模。子ども劇場・おやこ劇場の運動も大きかった。世の中がそういう流れだった。文化は人と人をつなげるといふ力を根底に持っている」

「なごや芝居の広場」の第1弾は2017年度「暮らしの詩」昭和・守山・緑・中村・中川・北の各文化小劇場で公演。18年度「ゼロの焦点」昭和・守山・瑞穂・中村・南文化小劇場。19年度「叔母との旅」「片づきたい女たち」千種文化小劇場で2本連続公演。20年度は「喜読哀楽」と題した朗読のワークショップを、工事休館中の熱田文化小劇場以外の14館全館で実施（5月実施分は秋に延期予定）。

制作のいのこさんは公演のたびに演出家を選定し、名古屋の様々な劇団やフリーで活動している役者たちを集めて上演。キャスティングに関して意見を言うこともあるが、最終的には演出が決める。上演までには様々なアクシデントがあり、いのこさんが急遽出演したこともあった。

「うりんごが長かったので、失礼ながら名古屋にこんなにたくさん俳優さんがいるんだというのが新たな発見だった。東京に比べ良い意味で狭いので、仲が良く私利私欲がない。それが名古屋の特徴。そしてとても協力的で裏方の手伝いなども気持ちよくやってくれるので、一人でやっているという気はしない。しかし演劇で飯を食っているという人が少なく、切磋琢磨という点では弱いとも思う。東京だったら食うためにはよくも悪くも切磋琢磨せざるをえない。『なごや芝居の広場』でたくさんの人と交流する中で、こういう人達が食えるようになったらと思うものの、申し訳ないけれど俳優には出演料は十分に支払っておらず、チケットの売れ具合に左右されてしまう。事業団も助成金を出してくれているが、市や県や国の文化への理解が必要。市も県ももっと文化に力を入れないと。日本の中にもっと文化が根付かないと。」

新型コロナウイルスが世界を席卷する中、ドイツ文化相の『文化は必要不可欠な存在』という言葉に勇気もらった。こういう危機の時こそ文化は力を発揮しなければならない。文化は命に関わるもの。日本は医療、農業、文化など命に関わるところが脆弱なことがはっきりしてきた。心を耕すことが免疫力を高める。今の

状況が落ち着いてきたら『コロナを吹き飛ばせ文化祭り』をやりたいと思っている」



2017年度「暮らしの詩」



2018年度「ゼロの焦点」



2019年度「叔母との旅」



2019年度「片づきたい女たち」

想うことは夢じゃない

2021年度の「なごや芝居の広場」は名古屋市芸術創造センターを会場に「稀譚／鹿鳴館」（2021年12月3～5日）を上演予定。

「これからも積極的に人の集まりに出かけていき観客づくりをしたい。そのためにも誰が観てもおもしろいという作品をつくらないといけない。そして継続しないといけない。地域に文化を、演劇を定着させるために。」

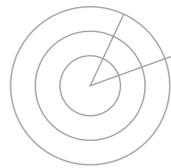
このコロナ騒動で世の中が大きく変わり、世の中の価値観や何を大事にしなければならないかが明確になり、見直さなければいけないことが出てくると思う。

2022年度はどうするか、今、混沌の中にある。もう少し世の中の推移に身を置き、内的なものじっくり対峙し、自分のやりたいことと世の中とをフィットさせていかないと。ぼんやり“旅”という言葉が頭をかすめている。

誰もがそれぞれに自分の考えを持ち、更にみんなと語り合い、その中で一人一人何が出来るのが益々問われる時代がくるのでは。我々は表現者だから、皆さんと一緒に何をつくる事が出来るのか問われている。ものづくりは具体的でないといけないが、今はその具体的なものを考え出す時間だと考えている」

小柄な体に満ち溢れるエネルギー。文化は人と人をつなぐ力を持つと信じるいのこさんの笑顔に魅了された。

ピックアップ



今、旬の音楽家たち

筆者はなごや文化情報390号において若手弦楽器奏者を、392号では若手ピアニストに焦点を当てて紹介したが、vol.3として現在、大活躍中の旬の音楽家を紹介したい。

まず、世界的に活躍しているテノールの^{ふえだ ひろあき} 笛田博昭が挙げられる。笛田は新潟県湯沢町出身で、名古屋芸術大学首席卒業、同大学院修了。同大学特別公演『トゥーランドット』カラフ役でオペラデビューし、フェッラーラ歌劇場で『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ役で出演し、イタリアデビューを果たした。2013年にはヴァチカン国際音楽祭に参加し枢機卿の音楽ミサに出演。2017年からはNHKニューイヤーオペラコンサートにも出演している。類まれなる“声”と生まれ持った体格を活かし各地で活動中である。筆者も名古屋芸術大学院修了演奏会にて共演をしたことがあり、その時は「椿姫」のアルフレードを歌ったのだが、今までに聞いたことのないような声量に圧倒されたのを覚えている。

また、バスの^{いとうたかゆき} 伊藤貴之の存在も忘れてはならない。伊藤は愛知県幸田町出身。名古屋芸術大学声楽科首席卒業。同大学院首席修了。第41回イタリア声楽コンクール金賞。第6回ジャンニーノ・ゼッカ国際声楽コンクール第2位。平成24年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞。2015年にはセイジオザワ松本フェスティバル「第九」に抜擢され、京都二条城にて小澤征爾指揮のもとソリストを務めた。現在は藤原歌劇団正団員。筆者も10年ぐらい前に度々共演したが、活躍の幅を広げていく姿を見ることが出来てとても嬉しい。また、笛田、伊藤両氏とも2020年2月8日愛知県芸術劇場にて藤原歌劇団公演「リゴレット」に笛田氏はマントヴァ公爵、伊藤氏はスパラフチーレの役で出演している。

さらに、国内外で活躍しているテノールの^{なか いりょういち} 中井亮一を挙げたい。中井は山口県久賀町（現・周防大島町）出身で、小学校から高校までは吹奏楽部に所属しトランペットを演奏していたが、声楽に転向し、名古屋芸術大学大学院を修了する。2005年にNPO法人イエローエンジェルの奨学金を受け、イタリアに留学。2008年にはヴェネツィアのフェ

ニーチェ歌劇場の「ロッシーニ・ガラ・コンサート」にソリストとして出演した。国内でも藤原歌劇団の主役級ソリストとして出演を重ねるほか、新日本フィルや名古屋フィルなどオーケストラとの共演も数多い。筆者も、名古屋芸術大学大学院修了演奏会や大府市での第九コンサートなどで共演しているが、中井氏が放つオーラには一際光るものがあり、さらなる活躍を期待している。

（濱津 清仁）



笛田博昭氏
2020年:オペラ「リゴレット」
マントヴァ公爵役



伊藤貴之氏



中井亮一氏 2010年:オペラ「タンクレーディ」アルジェーリオ役
指揮のAleberto Zedda氏とオーチャードホールにて(藤原歌劇団主催公演)

いとしの
サブカルプロに尋ねる
フィギュアフィニッシャー
の仕事

「田川 弘」原型師 林浩己

た がわ ひろし
フィギュアフィニッシャー 田川 弘

1959年宮崎県生まれ。大分県立芸術短期大学附属緑ヶ丘高等学校(美術)卒業。名古屋芸術大学絵画科(洋画)に入学。平面作家を目指す。1988-93年、中日展「大賞」「佳作賞」受賞、安井賞展「入選」後、1996年フィギュアに出会い、2011年よりフィギュアフィニッシャーとして活躍。国内外に多くのファンを持つ。

Q1 フィニッシャーとはどんなお仕事ですか？

まずフィギュアのことから説明しなければなりません。世界には色々な種類のフィギュアがありますが、日本でいう一般的なものは、アニメや漫画などのキャラクターを立体化したもののことをいいます。大きさは小さいものは数ミリのものから、大きいものは等身大のものまで。材質はポリ塩化ビニルや、レジン(樹脂)で出来ています。

完成品として売られているものや、プラモデルのようにばらばらの部品を組み立てるキットなどもあります。私が塗装しているフィギュアは、ガレージキットといえます。ガレージキットとは、大手企業ではなく一個人が自ら彫刻してキットを作成し、販売しているものです。アニメや漫画のキャラクターもありますが、原型師(キットを作る人)のオリジナルキャラクターも多いです。私はそのリアルなオリジナルキャラクターを好んで塗装しています。

組み立てや塗装には特別な知識や技術が必要です。ばらばらの状態から部品をきれいに整え、組み立て、塗装しフィギュアとして完成させることをフィニッシュするといえます。

一般のモデラー(模型を趣味で作る人)さん達でも、勉強された方ならフィギュアを完成させることが出来ます。しかし、そのような方たちをフィニッシャーとはいいません。あくまでモデラーです。これを専門に手掛け、お金をもらっている人をフィニッシャーといえます。



「survival:05 singer」原型師 大島雅人

Q2 フィニッシャーの仕事の魅力は？

フィニッシャーによって違うと思います。私は、私によって単なる無機質なレジンの塊が命を宿した人形になり、それを観た人たちが驚き、心を動かしてくれることです。泣いてくれる人もいるし、恋をしてくれる人もいます。自分の運命を変える人もいます。私の作品を観た人たちが心を動かしてくれるってところですね。絵を描いていた頃と同じです。

Q3 大学では絵画を専攻されたそうですね。フィギュアに移行したきっかけを教えてください。

高校、大学と、美術専門の学校に通いました。専攻は洋画です。私は若い女性をモデルにして描くことが多かったです。同時に漫画家も目指していましたが、イラストチックな印象の絵を描いていました。そして、その女性達を平面の中にですが、人形としてとらえるようになってきたのです。平面のキャンバスの中に、立体の人形を作っている…。そんな感覚で描いていました。だから、全身像が多かったです。

しかし、結婚&子育て&会社の仕事…等に追われるようになり、絵画の制作に集中できなくなっていきました。制作するうえでの大きな壁にも何度かぶつかり、いつしか絵描きになろうという意識も薄れていってしまいました。それから毎日平凡に過ごしていたのですが、表現者としての自分は死んではいませんでした。

ある日ふと目にした情報誌の写真付きの記事。「ヌードフィギュアキットを買って、自分色に染めてみよう!」に、心を射抜かれたのです。私はそれまでも平面作品である絵画を立体作品と同様な感覚で描いてきたので、人形(立体キャンバス)に色を塗る行為にすごく親近感を覚えました。実際やってみるとすんなり入っていけました。そこから独学でフィギュア塗装を始めることになったのです。

Q4 制作過程で一番好きなおとところ、また難しいところは？

フィギュアが一番大切な部分はお顔だと思っています。私にとってお顔のない人形はただの樹脂の塊にしかすぎません。お顔を塗装している時が一番楽しく、そして苦しい時です。最も気を遣うのもお顔を仕上げている時です。また、お顔に限らず、そのフィギュアに性格付けしている時。性格を持たせるということは魂を入れるということ、フィギュアに命が宿するという。例えば、悲しみを宿すフィギュアを塗装する時、私自身が涙を流すこともざらです。それによって体が震えたり、涙でフィギュアが見えなくなったりして、作業が中断したりもします。

Q5 現在の活動状況をお教えてください。

大きなものとしては、今年の5月12日に初めての書籍を発売しました。技術的なhow-toと、画集、エッセイ集が合わさったような内容となっています。

ほかに、今年は新型コロナウイルスの影響でことごとく中止になってしまっていますが、年に5回開催されている(千葉2回、大阪、静岡、名古屋)大きな模型イベントに参加しています。



田川 弘「PYGMALION」女子フィギュア感涙仕上げ恋に落ちるほど美しい、魅惑の女性像・田川弘フィニッシャー AtoZ



なごやの文化を褒められると、うれしい。

文化事業への寄附金を活用し 創造性と都市の魅力を高める 文化力によるまちづくりを目指しています。

支援と育成

芸術や文化活動の支援と育成をしています。

参加と交流

みなさまが参加し交流できる事業を展開しています。

芸術の鑑賞

文化や芸術のご紹介や鑑賞をしています。

情報の発信

さまざまな芸術や文化の情報を発信しています。

ご寄附の際は、インターネットを利用したクレジット決済(クレジット寄附)もご利用いただけます。

ご寄附のお問い合わせ | ご寄附は、いつでも受け付けております。



名古屋市文化基金 Eメールアドレス
a3172@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp



名古屋市観光文化交流局
文化歴史まちづくり部文化振興室
TEL: 052-972-3172



公益財団法人
名古屋市文化振興事業団
TEL: 052-249-9390

税の控除について | この寄附金は、ふるさと納税の対象です。

○個人の場合 | 確定申告によって、以下の金額を所得税及び個人住民税から控除することができます。

所得税(所得控除)

寄付金額
又は
総所得の40%
のいずれか低い金額
○ 2千円
⊖ 寄付金控除額

* 特別控除額 = (寄附金額 - 2千円) × (100% - 10% (基本分) - 所得税率)

個人住民税(税額控除)

寄付金額
又は
総所得の30%
のいずれか低い金額
○ 2千円
⊗ 10% ⊕ 特別控除額
⊖ 寄付金税額控除額

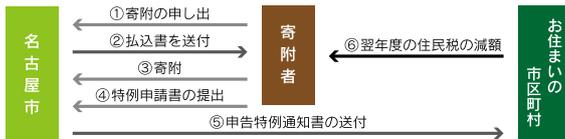
※ 所得税率は復興特別所得税を含めた率 [注意] 特別控除額は 所得割額の2割を限度とします。



○法人の場合 | 寄附された金額を法人税法(第37条第3項第1号)の規定により損金算入することができます。

「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

ふるさと納税をした翌年に確定申告を行うことが必要です。ただし平成27年4月1日以降は、寄附時に「ふるさと納税ワンストップ特例制度」の申請をさせていただくことで、確定申告をしなくても控除を受けられるようになりました。(特例制度は、給与所得者等の方で、確定申告の必要がない方、寄附先の都道府県及び市区町村が5団体以下の方に適用されます)
※ 確定申告には、この寄附金の領収書が必要となりますので、大切に保管してください



詳しくは、市公式ウェブサイト内 **名古屋市文化基金**



頼もしい味方をお探しですか？



集客・販促プランナー

アートディレクター

印刷コンサルタント

駒田印刷株式会社 TEL(052)331-8881

〒460-0021 名古屋市中区平和2-9-12 http://www.kp-c.co.jp

WE MAKE YOU MOVE
感動をあなたへ

20Hz ← → 20kHz



PRO AUDIO & VISUAL & NETWORK
舞台音響/映像設備
設計・施工・保守・特注品製作・業務用機器販売

この領域を超えて最高のパフォーマンスを。

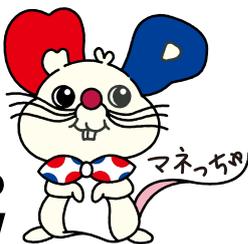
お客様に寄り添った先進のAVシステムを提案する
株式会社 エーアンドブイ
〒464-0846 愛知県名古屋市中区栄三丁目18番1号
TEL/052-761-5400 FAX/052-761-0909

公演・発表会の受付から制作業務全般まで、何でもご用命ください。美術展の受付も対応いたします。

業務内容

- ①舞台の企画・制作マネジメント
- ②イベントの企画制作
- ③芸術団体のコンサルティング
- ④舞台・イベントの運営

MANAGEMENT PRO
株式会社 マネージメント・プロ



「ナゴヤ劇場ジャーナル」ではサポート会員を募集しています。



- ◎年間6,600円で毎月お手元にお届けいたします。
- ◎毎月24,000部発行
- ※東海地方の演劇・バレエ・音楽公演、ホール、DM 等にて配布

〒461-0008 名古屋市中区東区葵2-11-22 アバンテージ葵ビル305

TEL:(052)508-5095

FAX:(052)508-5097

Web:www.mane-pro.com

E-mail:mane-pro@mane-pro.com